

静岡県主要21産業の回顧と展望

企業活動、個人消費とも盛り上がり欠缺 全21業種で横ばいが続く見通し

◆2016年の回顧

2016年の静岡県の産業景気を振り返ると、新興国経済の景気減速や円高の進行などによる輸出の伸び悩みに加え、4月の熊本地震による自動車メーカーの減産などもあり、製造業は総じて低調な状態が続いた。また、17年4月の消費税率引上げは見送りとなったものの、6月に英国のEU離脱表明による円高・株安相場を受けて消費マインドが冷え込み、自動車、住宅などの需要は復調の兆しがみえなかった。加えて、8月後半以降頻発した台風の影響により、生鮮品の出荷遅れや高値が続き、外出も控えられたことから、食品スーパー、観光・レジャーなど個人消費関連は低調のまま横ばいとなった。1年を通してみると、内需・外需とも力強さに欠缺、静岡県産業全体としては足踏みが続いた。

◆2017年の展望

2017年の静岡県の産業景気を展望すると、米国のトランプ新大統領決定に伴い円安方向に動いたことで、自動車・二輪車関連などへの追い風も期待されるが、中期的には保護主義的な姿勢も予想され、海外他地域の情勢も含め先行きは視界不良な状況が続く。また、食品や紙など内需主体の製造業では前年並みを見込むが、消費者の節約志向は引き続き強く、商業・サービス業関連は盛り上がりを欠くとみられる。一方、企業の人手不足を受けて情報サービスや人材派遣業の業績は底堅く推移する見通し。こうしたことから、総じて県内産業景気は、横ばいで推移することが見込まれる。

主要産業の天気図

業種	2016年実績	2017年展望	業種	2016年実績	2017年展望
製茶			運輸・倉庫		
食品・飲料			情報サービス		
紙・パルプ			観光・レジャー		
工作機械			外食		
民生用電器部品			リース		
自動車部品			人材派遣業		
二輪車部品			繊維		
建設・住宅			製材		
大型小売店			家具		
自動車販売			楽器		
家電量販店					

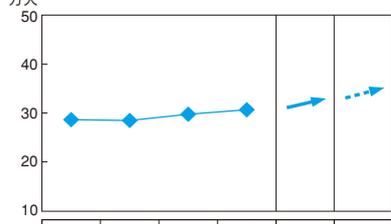
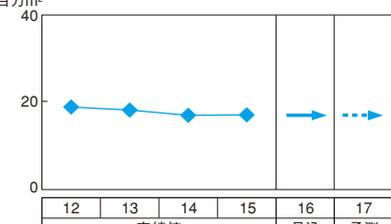
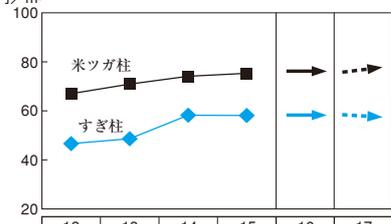
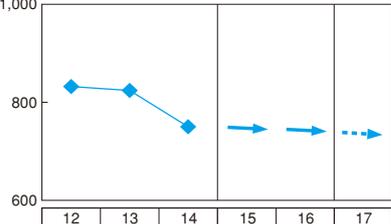
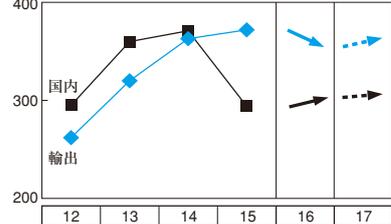
業界天気：☀️ 好調 ○ 順調 ◐ 普通 ☁️ 低調 ☔️ 不調

業種・天気図	①2016年回顧・②2017年展望	主な統計指標の動き												
<p>製茶</p> <p>2016年 ☁️ ↓ 2017年 ☁️</p>	<p>①全国の製茶問屋の売上は、前年並みを確保した。一番茶は、生産面積の減少や良質な荒茶生産のための浅刈り励行で、生産量は減少したが、価格は前年を上回った。こうした中、生産者の系列化を進める製茶問屋が目立った。</p> <p>②全国のリーフ茶需要の回復は十分とは言えず、製茶問屋の売上は低迷が続く見通し。ただし、水出し冷茶は定着しつつあり、販売を下支えしそう。海外市場の開拓支援や学校教育を通じた緑茶愛飲の習慣化など、行政の関与にも期待がかかる。</p>	<p>円 緑茶（茶葉）の家計支出金額（全国）</p> <table border="1"> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td></tr> </table> <p>実績値：総務省、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>食品・飲料</p> <p>2016年 ☾ ↓ 2017年 ☾</p>	<p>①県内のツナ缶の生産量は、消費者の節約・肉食志向により前年をやや上回った模様。円高で原材料価格が低下したため、収益が改善した。一方、飲料は、年初の暖冬など不安定な気候変動もあり、生産量は前年をやや下回ったとみられる。</p> <p>②県内のツナ缶の生産量は、節約・肉食志向の継続による需要が底堅く、前年水準をやや上回る見込み。レトルト食品も堅調に推移すると予想され、前年を上回るとみられる。一方、飲料の生産量は、前年並みで推移する見通し。</p>	<p>万ケース 静岡県のツナ缶生産量</p> <table border="1"> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td></tr> </table> <p>実績値：静岡缶詰協会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>紙・パルプ</p> <p>2016年 ☁️ ↓ 2017年 ☁️</p>	<p>①県内の家庭紙の生産量は、前年をやや上回った。香り付きや長尺など再生トイレ紙製品の多様化は、適正価格の維持に寄与した。段ボール原紙は、生産量が微増したが、価格は軟調で推移した。白板紙は包装簡素化により低迷が続いた。</p> <p>②県内の家庭紙は、トイレ紙で設備投資を行ったメーカーが増産の見込み。ただし、輸入品も含めた競争激化により、利幅の縮小が懸念される。板紙は前年並みの見込みだが、ネット通販の成長による段ボール原紙の伸長に期待。</p>	<p>万トン 紙生産量（全国）</p> <table border="1"> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td></tr> </table> <p>実績値：経済産業省、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>工作機械</p> <p>2016年 ☾ ↓ 2017年 ☾</p>	<p>①全国の年間工作機械受注額（見込）は1兆2,000億円台と、年途中で見直した業界目標額を下回った。内需はものづくり補助金効果のはく落、外需はけん引役の新興国経済の低迷で、前年を下回った。県内も全国同様、前年を若干下回った。</p> <p>②全国的に内・外需とも明るい材料に乏しく、前年実績を維持できるかは微妙な状況。ただし、受注水準は健全水準の目安とされるレベルを確保していることから、急激な後退懸念は小さい。県内も、前年実績を確保できるか難しい状況。</p>	<p>億円 工作機械受注額（全国）</p> <table border="1"> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td></tr> </table> <p>実績値：日本工作機械工業会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									

業種・天気図	①2016年回顧・②2017年展望	主な統計指標の動き												
<p>民生用電器部品</p> <p>2016年 ☺</p> <p>↓</p> <p>2017年 ☺</p>	<p>①全国の白物家電の生産額は、消費増税を見込んだ前倒し生産が寄与し、前年実績を上回った模様。ただし、年後半は在庫圧縮のための減産の動きが目立った。県内部品メーカーの受注量も、前年水準を上回った模様。</p> <p>②全国の白物家電の生産額は、前年並みを若干下回って推移する見通し。年前半は、エアコンを中心に在庫圧縮が優先されそう。冷蔵庫は、大容量モデルのニーズが底堅いことから、需要拡大に期待。</p>	<p>百億円 白物家電の生産金額(全国)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：経済産業省、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>自動車部品</p> <p>2016年 ☁</p> <p>↓</p> <p>2017年 ☁</p>	<p>①全国の自動車生産台数は、前年実績を△3%程度下回った。輸出は持ち直したが、軽自動車を中心に内需が伸び悩んだ。これに伴い、県内部品メーカーの受注量も、前年水準をやや下回って推移した。</p> <p>②全国の自動車生産台数は、前年並みの水準で推移する見通し。内需は好材料が見当たらず、輸出も現地生産化の進展により大きな伸びは期待できない。県内部品メーカーの受注量も、前年並みで推移する見込み。</p>	<p>万台 自動車の国内生産台数と販売台数(全国)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：(一社)日本自動車工業会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>二輪車部品</p> <p>2016年 ☔</p> <p>↓</p> <p>2017年 ☔</p>	<p>①全国の完成車生産台数は、4月の熊本地震で生産拠点が被災した影響もあり、前年を△10%弱下回った模様。県内部品メーカーの受注量は、メーカー系列により繁忙度に差があったものの、総じて低調に推移した。</p> <p>②全国の完成車生産台数は、完成車メーカーの一部で、国内向け原付バイクを国内生産に切り替えたことから、前年を上回る見通し。ただし、部品の調達には海外や九州地域が中心で、県内部品メーカーへの影響は限定的。</p>	<p>万台 二輪車生産・輸出台数(全国)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：(一社)日本自動車工業会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>建設・住宅</p> <p>2016年 ☺</p> <p>↓</p> <p>2017年 ☺</p>	<p>①県内の公共工事は、国の大型特殊案件が寄与し前年を上回った模様。民間工事も、商業施設や介護・保育施設の受注が多く、前年の落ち込みから持ち直しをみせた。住宅着工は、持家が不振である一方、貸家が堅調に推移した。</p> <p>②県内の公共工事は、災害対策工事などの発注が見込まれ前年実績を確保する見通し。民間工事も、宿泊施設の新設など大型案件が予定され、上向き兆しがみられる。住宅着工は、節税対策として伸びてきた貸家の減速が懸念される。</p>	<p>億円 静岡県の工事受注高</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>資料：国土交通省、建通新聞社、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									

業種・天気図	①2016年回顧・②2017年展望	主な統計指標の動き												
<p>大型小売店</p> <p>2016年 ☁️ ↓ 2017年 ☁️</p>	<p>①県内の百貨店の既存店売上高は、化粧品などが好調に推移したものの、主力の衣料品が伸び悩み、前年をやや下回った模様。スーパーの既存店売上高は、猛暑や台風など天候不順で来客数が伸び悩み、前年をやや割り込んだ。</p> <p>②県内の百貨店の既存店売上高は、インターネット通販などとの競合激化で、主力の衣料品の苦戦が予想され、前年をやや下回る見通し。スーパーの既存店売上高は、消費者の節約志向の高まりを背景に前年をやや下回る見込み。</p>	<p>静岡県の大型小売店販売額 (既存店ベース：前年比)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：関東経済産業局、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>自動車販売</p> <p>2016年 ☁️ ↓ 2017年 ☁️</p>	<p>①県内の新車販売台数は、燃費不正問題の影響で軽自動車の不振に拍車がかかり、前年を下回った模様。登録車は、ハイブリッド車を中心に、既存モデルが堅調に推移し、前年をやや上回った模様。</p> <p>②県内の新車販売台数は、前年を上回る見込み。軽自動車は、前年は上回るものの弱含みで推移しそう。登録車は、2016年末から年初にかけて人気車のモデルチェンジや新型車投入が相次ぐ予定で、需要持ち直しに期待がかかる。</p>	<p>静岡県の乗用車販売台数 千台</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：静岡県自動車販売店協会、静岡県軽自動車販売店協会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>家電量販店</p> <p>2016年 ☁️ ↓ 2017年 ☁️</p>	<p>①全国の薄型テレビの販売額は、8月のリオ五輪による需要増加を背景に、前年をやや上回った。一方、白物家電は、消費マインドの冷え込みを受けて、前年実績をやや下回り、家電販売額全体では前年並みで推移した。</p> <p>②全国の薄型テレビの販売額は、4Kテレビや大画面モデルへの買い替えが続くとみられ、前年実績を確保する見通し。冷蔵庫や洗濯機などの生活家電は、高機能・高価格帯商品の人気の高まりにより、前年をやや上回る見通し。</p>	<p>家電販売額の対前年比伸び率(全国)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：日本銀行、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>運輸・倉庫</p> <p>2016年 ☁️ ↓ 2017年 ☁️</p>	<p>①県内のトラック輸送量は、食料品や飲料などは堅調に推移したものの、輸送機器関連が減少し、全体では前年並みの水準となった。普通倉庫は、紙・パルプなどの荷動きが鈍く、前年をやや割り込んだ模様。</p> <p>②県内のトラック輸送量は、食料品や飲料などは堅調に推移するとみられるが、輸送機器関連が伸び悩み、前年並みの水準にとどまる見通し。倉庫の入出庫量は、主力の電気機械や飲料の荷動きに期待がかかり、前年水準は確保する見通し。</p>	<p>静岡県の普通営業倉庫の月平均入出庫量 万トン</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td><td>見込</td><td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：静岡県倉庫協会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									

業種・天気図	①2016年回顧・②2017年展望	主な統計指標の動き												
<p>情報サービス</p> <p>2016年 ○</p> <p>↓</p> <p>2017年 ○</p>	<p>①県内売上高は、前年水準をやや上回った模様。主力のソフトウェア開発が堅調に推移し、首都圏からの受託案件も相次いだほか、小売業の流通システム関連や製造業の生産管理システムなどの案件が増加した。</p> <p>②県内売上高は、前年水準をやや上回る見通し。引き続きソフト開発が堅調に推移するほか、首都圏からの案件も増えるとみられる。一方、雇用面では、SEが不足しており、人材確保に苦戦しそう。</p>	<p>兆円 情報サービス業売上高(全国)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：経済産業省、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>観光・レジャー</p> <p>2016年 ☁</p> <p>↓</p> <p>2017年 ☁</p>	<p>①県内は、夏から秋にかけて天候に恵まれず、屋外施設を中心に伸び悩んだものの、三島スカイウォークの100万人を超える集客は、葦山反射炉の世界遺産効果のはく落をカバーし、県内の観光客数を前年比微増で推移させた模様。</p> <p>②県内は、東部・中部で横ばい、西部でプラス推移となる見通し。NHK大河ドラマの舞台になる県西部は、日帰り客を中心に100万人ほどの上積みが見込めそう。県内の観光客数は前年を+2~3%程度上回る見通し。</p>	<p>億人 静岡県の観光交流客数</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：静岡県、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>外 食</p> <p>2016年 ☁</p> <p>↓</p> <p>2017年 ☁</p>	<p>①全国の売上高は、消費増税の延期が決まったものの、消費者の節約志向は変わらず、外食マインドが高まらなかったため、前年比微減で推移した模様。地震や台風などの影響で食材価格の高騰が続き、収益を圧迫された。</p> <p>②全国の売上高は、消費者の節約志向が一層強まるとみられ、外食単価の低下から前年実績をやや下回る見込み。需要喚起のために割安メニューを投入する店も増えるとみられ、前年よりも収益力が低下する懸念が高まっている。</p>	<p>前年比指数 飲食店売上高と客単価(全国)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：(一社)日本フードサービス協会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
<p>リース</p> <p>2016年 ☁</p> <p>↓</p> <p>2017年 ☁</p>	<p>①全国のリース件数・取扱高は、機械関連が減少に転じたものの輸送用機器が増加したことなどから、前年並みとなった模様。県内は、大型案件は少なかったが更新需要が底堅く、前年をやや上回って推移したとみられる。</p> <p>②県内企業の設備投資は、機械関連の更新需要を中心に底堅く推移するとみられ、リース件数・取扱高は、前年並みとなる見通し。ただし、レート競争は激しさを増すとみられ、収益面では厳しい状況が続く見通し。</p>	<p>兆円 リース取扱高(全国)</p> <table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> <p>実績値：(公社)リース事業協会、見込・予測：当所</p>	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									

業種・天気図	①2016年回顧・②2017年展望	主な統計指標の動き												
人材派遣業 2016年  ↓ 2017年 	①県内の実働派遣労働者数は、前年をやや上回った模様。販売業務や製造業務が好調に推移したほか、事務系業務も増加した。需要は旺盛だったものの人材不足から受注に至らなかった案件もあり、需要ほどは伸びなかった。 ②県内の実働派遣労働者数は、前年をやや上回る見通し。企業の人手不足は深刻化しており、需要は強まるとみられるが、人材確保が一層困難になることが予想され、伸びは限定的となる見込み。	派遣労働者実稼働者数（全国502事業所）  <table border="1" data-bbox="1061 683 1420 728"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> 実績値：(一社)日本人材派遣協会、見込・予測：当所	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
繊維 2016年  ↓ 2017年 	①県内の一般生地の生産量は、ほぼ前年並みで推移した模様。アパレルメーカーで国産素材への回帰が進み、受注が堅調だった。工賃は、産元と交渉した一部の業者で上昇したものの、全体では横ばいで推移した。 ②県内の一般生地の生産量は、前年並みで推移する見通し。引き続き国内回帰が続くとみられ、堅調な受注が見込まれる。工賃は、横ばいで推移する模様だが、特殊工程や小ロットに対応する一部の業者では上向くとみられる。	静岡県の広幅織物生産量  <table border="1" data-bbox="1061 1019 1420 1064"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> 実績値：遠州織物工業協同組合、天龍社織物協同組合、見込・予測：当所	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
製材 2016年  ↓ 2017年 	①全国の新設住宅着工戸数は前年をやや上回ったものの、製材品の荷動きは伸び悩み、横ばいで推移した模様。製材品市況は、国産材、米材ともに活気に欠ける展開が続く、横ばいで推移したとみられる。 ②全国の新設住宅着工戸数は前年をやや下回るとみられ、製材品の荷動きは停滞が懸念される。製材品市況は、国産材がやや弱含みで推移する見通し。一方、米材は米国内の堅調な住宅市場の影響から、強含むと予想される。	木材卸売価格（全国）  <table border="1" data-bbox="1061 1355 1420 1400"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> 実績値：農林水産省、見込・予測：当所	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
家具 2016年  ↓ 2017年 	①県内の木製家具出荷額は、前年をやや下回った模様。全国の新設住宅着工戸数は増加したものの、消費者所得の伸び悩みなどで家具需要は好転せず、荷動きも鈍かった。一方、原材料価格の上昇が一服し、収益は改善された模様。 ②県内の木製家具出荷額は、前年を下回る見通し。全国の新設住宅着工戸数は前年より減少することが予想され、主力の中・高級家具需要の落込みが懸念される。原材料価格も高止まりが続き、厳しい経営環境が続くそう。	静岡県の家具・装備品出荷額  <table border="1" data-bbox="1061 1691 1420 1736"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> 実績値：静岡県、見込・予測：当所	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									
楽器 2016年  ↓ 2017年 	①県内メーカーの販売額は、前年並みとなった模様。輸出は、管楽器が伸び悩み、円高による円換算額の減少もあって、前年実績を下回った。国内は、ギターや電子ギター、電子ピアノ、電子オルガンが堅調に推移して前年を上回った。 ②県内メーカーの販売額は前年並みで推移する見込み。国内は、ピアノやギター、電子楽器は比較的堅調だが、全体では横ばいの見込み。輸出は、中国など新興国は伸長するも、先進国は先行き不透明感から需要が限られそう。	静岡県のメーカーの楽器販売額  <table border="1" data-bbox="1061 2027 1420 2072"> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="4">実績値</td> <td>見込</td> <td>予測</td> </tr> </table> 実績値：静岡県楽器製造協会、見込・予測：当所	12	13	14	15	16	17	実績値				見込	予測
12	13	14	15	16	17									
実績値				見込	予測									